

花卉年間 IPM 病害虫防除の有効事例

令和3年10月
J A全農ちば 営農支援部

営農情報集9月号に投稿致しましたガーベラ栽培の年間病害虫防除の有効事例に引き続き、バラ栽培の難防除害虫ハダニに対する天敵を導入した防除技術実践活動の成果をもとに第2次の概要を取りまとめましたのでご紹介させていただきます。

1. 有効事例の概要

- (1) 場所・期間：千葉県南房総市・平成30年4月～平成31年1月
- (2) 作物・面積：バラ・2,000 m²（ガラス温室2棟、ハイルック方式）
- (3) 対象病害虫・主な使用薬剤
 - ア．ハダニ類《難防除害虫・薬剤効果低下》
ミヤコバンカー、チリカブリ、ムシラップ、アグリメック 他5剤
 - イ．アザミウマ類：アフターム乳剤、ダブルシューターSE
 - ウ．うどんこ病：トリフミン水和剤、サルバトーレ ME
 - エ．その他病害虫
スタークル顆粒水溶剤、プレオフロアブル、パレード20フロアブル、
アフエットフロアブル

2. 防除プログラム延べ使用薬剤数

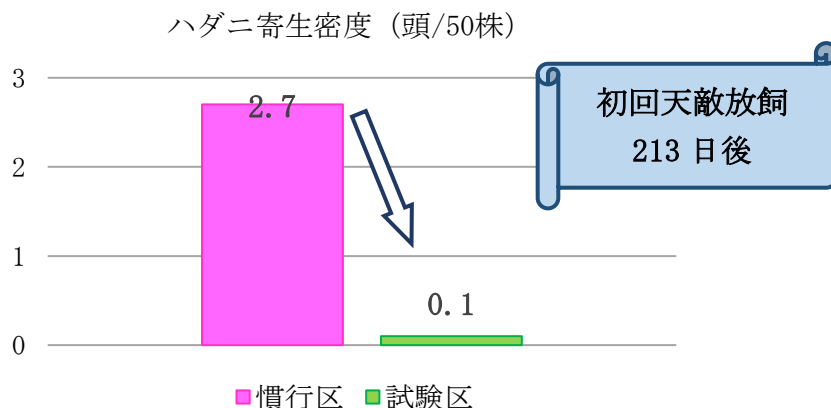
期間	区別	殺虫剤	殺菌剤	天敵	合計
H30.4～H31.1	慣行区	9剤	3剤	2種類※	12剤＋2種類
	試験区	7剤	1剤	2種類	8剤＋2種類

※慣行区はハダニの寄生密度が高く、急遽農家判断で天敵ミヤコバンカー、チリカブリを導入

3. 結果

区別	ハダニ寄生密度	散布回数	薬剤費（円）	労働費（円）	合計（円）
慣行区	2.7頭/50株	20回	99,330	61,384	160,714
試験区	0.1頭/50株	14回	140,175	26,395	166,570
増減	△2.6頭/50株	△6回	40,845	△34,989	5,856

- (1) 難防除のハダニ寄生密度を大きく抑制
- (2) 薬剤散布回数6回減で、削減した労働力その他作業への転換に成功
- (3) トータル費用はほぼ横ばい



防除プログラム、薬剤等に関する詳細な情報はJ A全農ちば営農支援部までお問い合わせください

ばら ミヤコバンカー ハダニ防除プログラム(簡易版)

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
		ハダニ作業	天敵放飼時期				天敵放飼時期			天敵補正放飼	
		天敵放飼前準備 【9月上旬～9月下旬】 ・前防除、セロ放飼の準備 ・天敵放飼1週間前までに散布 ・ダフルシューターSE 1000倍 ・天敵放飼3週間前までに散布 ・コマイト水和剤 2000倍	・10月上旬：ミヤコバンカー設置 200個/10a *ハダニゼロ：100個 + チカブリ2000頭～6000頭放飼				・2月上旬：ミヤコバンカー設置 100個/10a *ハダニ発生：200個 + チカブリ2000頭～6000頭放飼			・6月以降はハダニ作業前の花に摘み取りなどの作業があるので、病害虫防除は行われない時期に入る。 ・必要があれば天敵導入又は化学農薬で防除する。	

*必要に応じハダニ密度ゼロ状態にならない場合：気門封鎖剤（ムシラップ 500倍）＋チカブリ2000頭～6000頭放飼

*ハスモンヨトウ防除（発生の場合）/プレオフロアブル 1000倍 を散布

*ばら栽培の水分保持、土壌改良要件

*改植時：ケイントップ 400kg/10a施用

*通路湿潤状態：ケイントップ 補正施用

ミヤコバンカーニ雌成虫



【病害の防除】 *カブリダニに影響の少ない下記薬剤から選択

- ・うどんこ病
- ・ミヤコバンカー設置前：1月中旬、4月中旬
モレスタン水和剤 2000倍～3000倍
- ・ミヤコバンカー設置後：2月上旬～4月中旬
・10月～1月中旬
フルピカフロアブル 2000倍～3000倍
サルバトーレME 3000倍
トリフミン水和剤 3000倍
カリグリーン 800倍

ハダニ（彩花枝
折り曲げ）



ミヤコバンカー設置